

小山町文化財保存活用地域計画 概要版

1. 文化財保存活用地域計画とは

文化財保存活用地域計画は、地域の歴史文化資源※の総合的な保存・活用の基本方針となるマスタープランであり、かつ具体的な措置を定めるアクションプランです。

今回、小山町の歴史文化資源を、町全体で末永く後世へ継承していくとともに、適切な活用を推進していくことを目的に、「小山町文化財保存活用地域計画」を作成しました。

本計画の計画期間は、令和6年度（2024）から令和12年度（2030）の7年間です。

※本計画では、文化財保護法が対象とする文化財等に加え、文化財を取り巻く多様な要素を小山町における『歴史文化資源』と定義します。

計画名	年 度							
	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031
小山町文化財保存活用 地域計画	前期			後期			(見直し)	次期

2. 計画の基本理念

小山町文化財保存活用地域計画では、以下の基本理念のもと、歴史文化資源の保存・活用をすすめていきます。

わたしたちは、恵まれた自然環境に育まれた小山の歴史文化に誇りをもち、歴史文化の継承、体験や学習、にぎわいづくりを通じて、金太郎のように、健康で、明るい、ゆたかな町づくりをすすめます。

3. 歴史文化の特徴

歴史文化とは、地域固有の風土の下、先人によって生み生まれ、時には変容しながら現代まで伝えられてきた知恵・経験・活動等の成果及びそれらが存在する環境を総体的に把握した概念のことをいいます。歴史文化の特徴は、地域らしさ、地域の特徴を表します。

本計画では、本町の歴史文化の特徴を次の3つの要素に整理し、捉えます。

1 富士山に関する歴史文化 活火山富士山とともに生きるまち

日本の象徴ともいえる富士山は古くから信仰や崇拝の対象であり、多くの寺社や登拝・遙拝の対象とされ、本町においても富士浅間神社や富士登山道などゆかりの資源や信仰が受け継がれています。

一方で、小山町は江戸時代の「宝永の大噴火」の最大の被災地でもありましたが、小山の人々は力を合わせ復興を遂げました。



富士浅間神社

2 小山町への企業進出に関する歴史文化 企業進出による小山の産業革命

東海道線（現 JR御殿場線）の開通を契機に富士紡の工場が進出したことで小山町は転換期を迎え、時には震災や戦災などの苦難を乗り越えながら、企業とともに町は発展していきました。

現在でも豊門公園やその周辺には豊門会館や森村橋など、富士紡ゆかりの文化財が数多くあり、その歴史と功績を身近に感じることができます。



富士紡績株式会社 小山工場の外観

3 足柄峠周辺に関する歴史文化 歴史と伝説が息づく足柄峠

古くから交通の要衝として利用された足柄峠には、古道や合戦の伝承地、城跡や寺社などの歴史文化資源が数多く分布しています。また、小山町は金太郎（坂田公時）生誕の地といわれ、金太郎ゆかりの地が多く分布しています。

足柄峠には『万葉集』にも登場する「足柄の坂」や「足柄山」の地名や、現在も残る足柄城跡などの史跡、弘法大師の伝承の残る聖天堂など、この地の歴史を示す歴史文化資源が数多く残されています。



雪の積もる足柄城跡から望む富士山

4. 小山町の歴史文化資源

現在、把握している本町の歴史文化資源の件数及び内訳は次のとおりです。

【指定等文化財】有形文化財19件、民俗文化財1件、記念物12件の合計32件（令和5年8月1日現在）

【世界文化遺産】「富士山 ～信仰の対象と芸術の源泉～（Fujisan, sacred place and source of artistic inspiration）」における構成資産（要素）として、須走の富士浅間神社と須走口登山道

【日本農業遺産】「静岡水わさびの伝統栽培」

【未指定の歴史文化資源】有形文化財69,787件、民俗文化財5件、記念物106件、文化的景観1件、埋蔵文化財包蔵地42件、その他の歴史文化資源1,161件 合計71,102件（令和5年8月1日現在）

指定等文化財の集計表

種類	種別	国指定等	県指定	町指定	国登録	合計	
有形文化財	建造物	0	0	6	8	14	
	美術工芸品	絵画	0	0	1	0	1
		彫刻	0	1	2	0	3
		工芸品	0	0	0	0	0
		書跡・典籍	0	0	1	0	1
		古文書	0	0	0	0	0
		考古資料	0	0	0	0	0
		歴史資料	0	0	0	0	0
		無形文化財	0	0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	0	0	0	
	無形の民俗文化財	0	0	1	0	1	
記念物	遺跡（史跡）	1	0	1	0	2	
	名勝地（名勝・特別名勝）	1	0	0	0	1	
	動物、植物、地質鉱物（天然記念物）	0	3	6	0	9	
文化的景観	0	-	-	-	0		
伝統的建造物群	0	-	-	-	0		
合計		2	4	18	8	32	

未指定の歴史文化資源の集計表（※1）

種類	種別	地区						合計	
		成美	明倫	足柄	北郷	須走	地区をまたぐ ^{※2}		
有形文化財	建造物	32	26	20	46	11	-	135	
	石造物 ^{※3}	413	282	433	223	106	-	1,457	
	美術工芸品	絵画	-	-	-	-	-	-	-
		彫刻	-	-	-	-	-	-	-
		工芸品	-	-	-	-	-	-	-
		書跡・典籍	-	-	-	-	-	-	-
		古文書	10,012	5,492	10,326	36,464	5,901	-	68,195
		考古資料	-	-	-	-	-	-	-
		歴史資料	-	-	-	-	-	-	-
	無形文化財	-	-	-	-	-	-	-	
民俗文化財	有形の民俗文化財	-	-	-	-	-	-	-	
	無形の民俗文化財	-	-	-	1	-	4	5 ^{※4}	
記念物	遺跡	21	5	30	15	26	-	97	
	名勝地	-	-	2	-	4	-	6	
	動物、植物、地質鉱物	1	-	-	1	1	-	3	
文化的景観	-	-	-	1	-	-	1		
伝統的建造物群	-	-	-	-	-	-	-		
埋蔵文化財包蔵地	11	1	20	9	1	-	42		
文化財の保存技術	-	-	-	-	-	-	-		
その他	伝承	13	2	29	2	5	-	51	
	信仰	-	-	-	-	17	-	17	
	行事・イベント	2	1	6	2	4	-	15	
	地名（町域の成立に関わる地名として25の旧村、1,050ほどの小字名が挙げられる）	-	-	-	-	-	1,075	1,075 ^{※4}	
	特産品（水掛菜、ワサビ、水稲など富士山麓の湧水を生かした特産品が挙げられる）	-	-	-	-	-	3	3 ^{※4}	
合計	10,505	5,809	10,866	36,764	6,076	1,082	71,102		

※1：「-」は、法あるいは条例にて該当のないものを示す。

※1：現時点で把握できている未指定の歴史文化資源の集計である。

※2：「-」は、把握できていないものを示す。

※3：「石造物」は本来、建造物や美術工芸品に含まれるが、本町の歴史文化の特徴を示すものであるとともに、未指定のため評価（価値付け）が定まっていないことから、独立した項目を設けた。

※4：無形の民俗文化財のうち、食文化に関するものは町域全体に保つため、地区別の内訳と合計は一致しない。同様に地名・特産品も複数地域にまたがる場合があるため、地区別の内訳は表示していない。

5. 具体的な取組

		課題例	方針例	措置例
保存	究める	<ul style="list-style-type: none"> ● 既往調査した歴史文化資源の整理が不十分 ● 歴史文化資源の全体像の把握が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化財データベースを作成することで調査、研究の基礎とする ● 未調査の歴史文化資源について重点的な調査を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化財データベースの構築と運用 ● 特産品等の調査
	つなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定等による保存に至っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定等による保存を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町文化財保護審議会等の開催
	まもる	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災・防犯に対する継続的な意識啓発が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史文化資源防災訓練を定期的実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化財防火デー等における訓練
活用	ふれる	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史文化史資源の価値や魅力が十分に理解されていない ● 歴史文化資源の情報発信するための看板や案内表示が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史文化資源に関する情報の発信力強化に努める ● 文化財データベースの公開と、説明板等の充実を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ● わかりやすい冊子・パンフレットの作成 ● サイン及び解説板整備事業
	いかす	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史文化資源が学校での地域学習に十分に活用できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育との連携を強化し、現郷土学習の促進に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育での文化財の活用（地域学習の促進）
体制・支援	整える	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民の力を生かしきれていない ● 行政の人材が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史文化資源の魅力を守り伝える担い手を増やす ● 文化財保護行政の推進体制を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化財ボランティアの育成 ● 文化財専門職員の育成
	支える	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料館や収蔵庫のような施設が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 収蔵庫や公開・学習施設の整備に向けた取組を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保存・活用の施設整備

6. 関連文化財群

歴史文化の特徴をもとに、共通の歴史性を持つものを「関連文化財群」として設定することで、一体的・総合的な保存と活用を図り、歴史文化への理解を高めるとともに、その魅力の向上を図ることを目指します。本町では次の2つを関連文化財群として設定します。

(1) 富士山への信仰と噴火との戦い

富士山に対する信仰と富士山の麓で発展した地域産業に関連した文化財群

【構成要素の例】

- ・特別名勝富士山、史跡富士山、日向遺跡、富士講に関する文化財、御師関連文化財、スताल博士の碑、富士浅間神社殿、須走口登山道、馬車鉄道



伊奈半左衛門忠順像



スताल博士の碑

(2) 紡績産業にみる小山の産業革命

富士紡に関連した文化財群

【構成要素の例】

- ・豊門会館、西洋館、六合山荘、森村橋、鮎沢橋



豊門会館



西洋館



復原後の森村橋

7. 文化財保存活用区域

本町の歴史文化資源が集積し、まちづくりや観光振興に積極的に生かすことが期待できるとともに、歴史文化資源の保存・活用に様々な人々の参加が期待される区域を文化財保存活用区域として設定します。本町では次に示す地区を文化財保存活用区域として設定します。

足柄峠周辺

富士山と並ぶ小山町のシンボルである足柄峠は、古くから交通の要衝として重要な役割をもち、人や物資の往来が盛んな場所でした。現在も歴史的な社寺や人の往来を示す石碑、中世の戦いの争いの痕跡を示す足柄城跡などの歴史文化資源が残されるとともに、峠からは美しい景観を望むことができます。

また、足柄峠周辺は童謡や童話などで有名な“金太郎”など、数々の伝説・伝承が残る地でもあり、歴史に思いを馳せながら歴史文化資源を巡ることができます。



主な保存の方針

- 足柄峠及び金太郎の伝承に関連する歴史文化資源の実態把握と価値の解明、未指定の歴史文化資源の文化財指定を推進する。

保存に関する措置(例)

- 足柄城総合調査
地域住民等への聞き取りや文献を基に、必要に応じ足柄城及び城内の遺構のほか、周辺の岩の発掘調査の実施

主な活用の方針

- 足柄峠の歴史文化資源を情報発信するために、サインやパンフレット、ガイドなどを充実させる。

活用に関する措置(例)

- サイン及び解説板整備事業
足柄城に関する遺構及び金時山を含む足柄峠のサイン標示の充実



大雄山
宝鏡寺



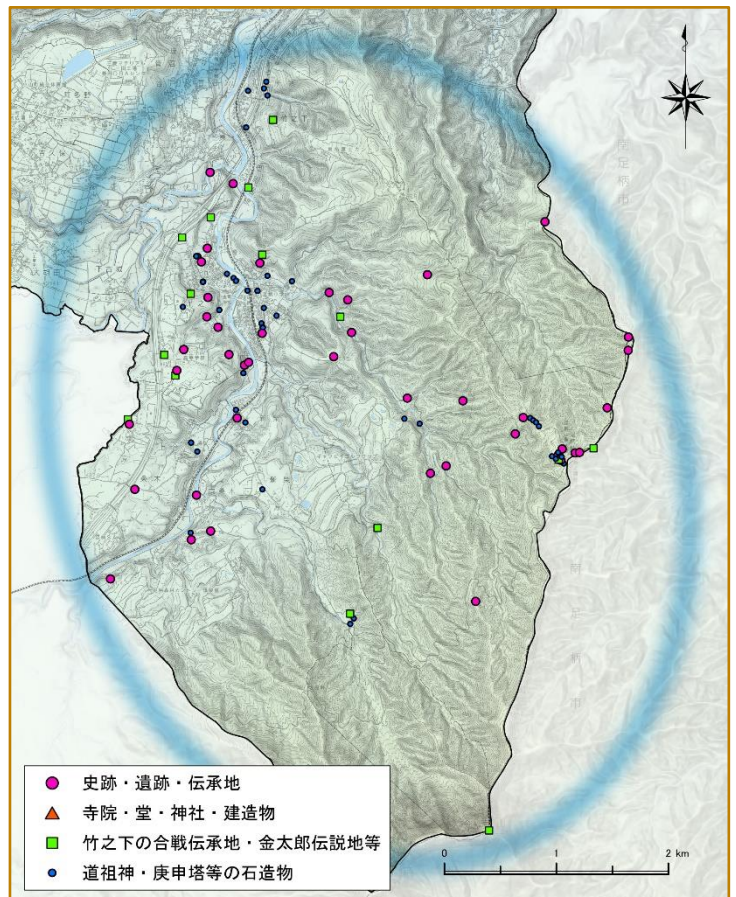
足柄峠
六地蔵



和泉山
円通寺



金時山



8. 推進体制

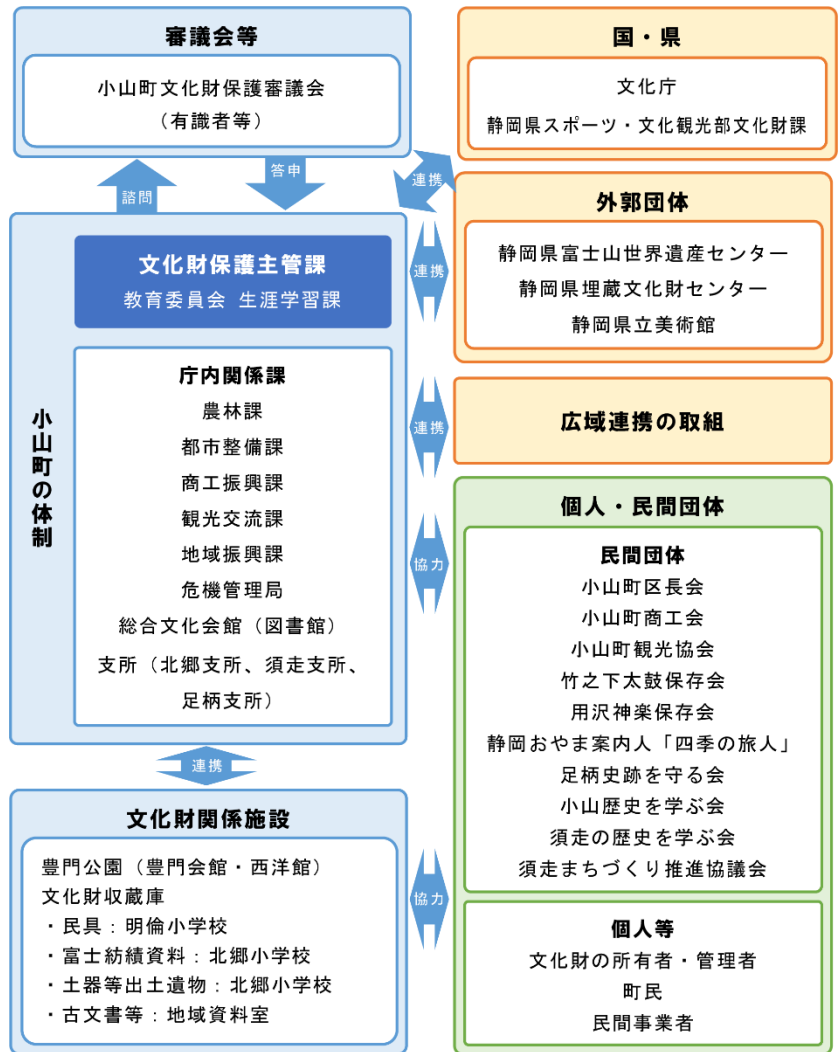
【歴史文化資源の保存・活用の推進体制】

本計画の推進にあたっては、庁内の連携体制の強化を図るとともに、国や県、外郭団体といった関係機関との連携を進めます。さらに、個人や民間団体との協力体制を構築し、多様な主体の参加により文化財の保存と活用を進めていきます。

【防災・防火・防犯の推進体制】

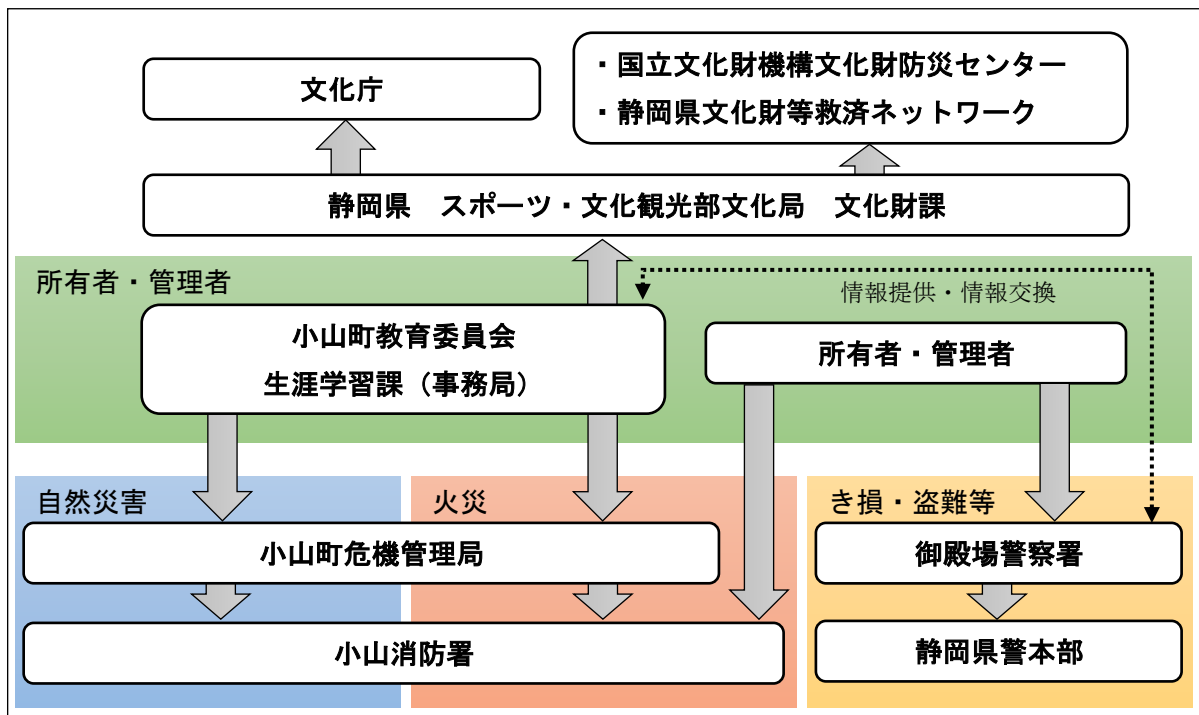
文化財の保存にあたっては、その損失を未然に防ぐことが非常に重要であることから、関係機関連携のもと、防災・防犯対策を実施していきます。

さらに、文化財の所有者、地域住民、小山町（教育委員会、消防署）等の連携により、体制の強化を図っていきます。



文化財防火デーの訓練の様子

小山町文化財保存活用地域計画の推進体制



防災・防犯の推進体制



令和5年度文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)

小山町文化財保存活用地域計画<概要版>

令和5年(2023)12月 認定 令和6年(2024)3月 発行
発行・編集 小山町生涯学習課 〒410-1321 静岡県駿東郡小山町阿多野130